

荒川大滝支部  
組合員数 891 人

荒川大滝支部ニュース

# こだま

2018年7月1日  
発行責任者 医療生協さいたま  
荒川大滝支部 深田澄子  
電話 54-1391

## ちくちくお裁縫広場 たのしいよ

ちくちくお裁縫広場では、毎月、ポシェットや通帳入れ、帽子など出来るものから挑戦して楽しんでいきます。

ちっちゃな物でも完成すると、とてもうれしいです。みなさんもぜひ参加しませんか。



## うれしい出来事

6月23日に第38回医療生協さいたまの総代会が行われました。今回、議長は秩父が担当だったので私深田が担当しました。はじめての経験でドキドキでしたが参加者の皆さまのご協力で任を果たすことが出来ました。翌日は私が3年前から始めた通信教育の書道の年1回行われる関東講習会でした。直接講師から教えてもらえる講習会です。東京麹町のホームに降りたら、かな文字の先生でいつも教科書にお手本を載せてる方がいらっしゃいました。ごあいさつしましたら、「あなた昨日議長していた方でしょう。私、岩槻の総代で会場の前の席でしたのであなたのことすぐわかりました」と言われびっくり。まさかと思った所で、まさかと思った人が医療生協の組合員だった。とっても感動でした。うれしい出来事でした。 深田澄子

## 荒川・大滝支部行事

○どなたでも参加できます

※絵手紙教室 第2月曜日10時

講師 高野文子さん

7月9日 8月6日

会場 荒川公民館 参加費無料

※機関紙仕訳作業

8月号 8月1日 9時30分

会場 荒川公民館

※燃やせ体脂肪教室

毎週火曜日 13時30分～15時

秩父スポーツ健康センター

参加費 無料

※街角健康チェック

7月18日 9時30分～10時30分

J A 荒川直売所前

骨密度測定(300円)など

※ちくちくお裁縫広場

7月9日 13時30分

会場 飯塚理事宅

参加費 実費 300円位

希望者にご連絡ください。

080 5643 6437

深田澄子の携帯電話です



## 福島被災地支援訪問に参加して

今年は楡葉町大阪地区の区長の鈴木さん宅を訪問しました。避難解除になって地区の人たちが一緒に帰ってきた地域だそうです。

訪問してみんなでつとっこを作り食べました。東北にはない食文化だそうです。秩父生協病院から今回初めて看護師の小池さんも参加され健康チェックなどもおこない悦ばれました。帰還して変わったことは、鍵をかける生活になったこと。除染作業の人たちで交通渋滞が起きるとのこと。健康に不安があること、突然血圧が上がったりする。とお話ししてくださいました。避難生活の大変だったことも直におはなしが聞けて良かったです。

泊まりはいわき湯本温泉「古滝屋」でした。夕食は出せないとお話しに「なんでー」

と思いましたが、到着してからご主人のお話しに納得しました。この地は温泉と海の幸が売り物の旅館でしたが、今は、海の幸は放射能の関係で食することが出来ないのだそうです。お客さんも来なくなって営業が困難になり何度もやめようと思ったそうです。

今まで200人いた従業員も今は20人だそうです。それでも祖先が頑張っけて続けた旅館を守りたいとお話ししていました。食事はテナントのお店で食べられました。

現在は旅館業の傍ら被災地案内や震災を語り継ぐ運動に携わっているそうです。東京ではオリンピックだと盛り上がっているようですが、政府の方たちは私たちの様子を見に来ることも話を聞きに来ることもありません。と怒っていました。

翌日は富岡町役場を訪問し職員の方からお話しを伺いました。13000人のうち680人が帰還したそうです。立派な役場で現在職員は130人いるそうです。富岡町に住んでいる職員は少ないそうです。除染土の山がなくなっていました。8000ベクレル以下のものは埋め立てなどに使いそれ以上の土は大熊町に移したとのことでした。職員の案内で町内を見学させてもらいました。住宅街に道一本隔てて解除地域・帰宅困難地域となっていました。これで帰れと言われても帰れないと思いました。

やっと東電が福島第二原発四基の廃炉を表明しました。



### 9条だいき 秩父市民の会

アベ政治を許さない

7月スタンディング予定

7月10日(火)

16:30 - 17:00

会場 矢尾前

日本の国は政治のトップによる嘘とごまかし、居直りの姿勢が世の中全体の風潮になりつつあります。子どもたちにこんな世の中を渡すわけにはいきません。草の根の力で民主主義の世に変えていきましょう。